

ねやがわ

令和5年(2023年)5月1日号

No.250

議会だより



寝屋川市駅前 (寝屋川市写真協会提供)

誌面のご案内

定例会のあらまし	1
会派代表質問	
ねやがわ未来議員団	2・3
公明党市会議員団	4・5
大阪維新の会議員団	5
日本共産党市会議員団	6
議決結果一覧	7

3月定例会を開催

- ・ 市政について会派代表4人が質問
- ・ 令和5年度予算を可決

会派名や議員名などは令和5年3月現在(改選前)のものです

令和5年3月 定例会

寢屋川市議会は、
2月27日から3月22
日までの24日間にわ
たり、令和5年3月
定例会を開催しまし
た。

この定例会では、
市長から提出された
33件の議案のほか、
議員が提案した寢屋
川市議会の個人情報
の保護に関する条例
及び意見書2件を審
議しました。

また、会派代表質
問は、3月6日、7
日の2日間行い、会
派を代表して4人の
議員が市政について
質問しました。

議 案 の 概 要

令和4年度一般会計補正予算 (第10号・11号)

主な内容は次のとおりです。

○未熟児養育医療給付の追加補正
〔2074万2000円〕

○新型コロナウイルス感染症医療費
助成の追加補正
〔1億5029万1000円〕

○市立小中学校親子給食調理場建設
工事の減額補正
〔△8億2971万円〕

○新型コロナウイルスワクチン接種
体制確保事業に係る経費(委託料)
〔債務負担行為補正〕

〔期間…令和4・5年度、限度額…
5億8987万8000円〕

これにより、令和4年度一般会計
補正予算は、6億9161万900
0円が減額され、歳入歳出予算の総
額は、1118億555万1000
円となりました。

寢屋川市国民健康保険条例の 一部改正

「大阪府国民健康保険運営方針」
(令和3年度から令和5年度まで)
を踏まえた国民健康保険の事務の実
施に関わる規定の整備を行うとともに
に、「国民健康保険法施行令」の改正
に伴い、保険料の軽減に係る所得
判定基準を改める等のため、一部改
正を行うものです。

一般会計当初予算

令和5年度一般会計当初予算は、
964億円です。主な内容は次のと
おりです。

○防災行政無線更新整備事業設計業
務
〔1967万9000円〕

住民等へ防災情報などを伝達する
防災行政無線の安定した運用を図る
ため、防災行政無線のシステム及び
スピーカーに係る実施設計等を行う
ものです。

○特定健診・特定保健指導
〔1億8795万1000円〕

特定健診対象者に対し、受診勧奨
はがきの送付に加え、電話での受診
勧奨業務を実施し、健診の受診率向
上を図るためのものです。あわせて、
特定健診を受診しやすい環境を整え
るため、個別健診や集団健診での受
診に加え、出張健診や休日健診の実
施を新たに行之、生活習慣病の早期
発見、予防を図るものです。

○産後ケア事業
〔714万3000円〕

妊娠・出産、子育てに関する悩み
等に対し、保健師等の専門職が相談
支援・育児支援を行うとともに、医
療機関等と連携した母子支援を実施
するものです。また、全世帯の利用
料金を軽減するものです。

○創業及び商店街等出店への支援
〔659万円〕

市内創業機運の高まりを踏まえ、
地域経済の活性化及び雇用の創出を

促進するため、創業及び商店街等へ
の新規出店に係る経費に対する補助
を拡充するものです。(創業に係る
補助金を上限20万円から上限50万円
に拡充)

○小中一貫校の設置
〔45億8066万3000円〕

第四中学校区への施設一体型小中
一貫校の設置に向け、建築家隈研吾
氏が設計監修した小中一貫校の施設
整備に係る新校舎棟建設工事、旧校
舎棟解体工事等を行うものです。

令和5年度一般会計補正予算 (第1号)

令和5年度一般会計補正予算(第
1号)は、23億1009万9000
円を増額するものです。主な内容は
次のとおりです。

○新型コロナウイルスワクチン接種
体制確保事業〔6億8556万円〕

○新型コロナウイルスワクチン接種
事業〔5億5540万3000円〕

これにより、令和5年度一般会計
予算歳入歳出の総額は、987億1
009万9000円となりました。

意 見 書

3月定例会で可決した意見書は、
次のとおりです。

◆新型コロナウイルス感染症後遺症
の方々の日常を守るため取組強化を
求める意見書

◆認知症の人も家族も安心な社会の
構築を求める意見書

ねやがわ未来議員団

ねやがわの未来について

議論する

馬場 才
金子 英生
北川 健治
北川 光昭
西尾 勝成
板東 敬治
久野 須賀子
山崎 菊雄

財政全般

- 問** 令和3年度決算で不認定とした理由に対しての、検証と改善対応は。
- 答** 法律に基づき必要と認める措置を講じたときは、速やかに議会に報告したいと考えている。
- 問** 児童手当などにおける、本市が主体的に考える所得制限の意義についての見解は。
- 答** 社会福祉施策等の生活上の支援を目的とした施策は、所得制限を設けることで、社会的弱者を保護する効果を発揮することが基本であると考えている。また、重要な課題等に対応するため所得制限の緩和等を行う場合があるものと認識している。
- 問** 重要視する財政指標は。
- 答** 国が公表を義務付けている健全化判断比率の健全化基準を遵守する。基金の積立額の充足度は。
- 答** 財政調整基金は、令和3年度末に約140億円となり、非常時の財源としての充足度は満たした。令和3年度決算以降は公共公益施設整備基金に重点的に積立てており、今後とも計画的に積立てていく。

子ども・子育て支援

- 問** 令和4年度から5年7月まで民間保育所等の給食費無償化の予算が提案された。少子化対策、子育て支援の面から市独自施策として恒久的な無償化も検討すべきと思うが、財政面での影響など課題も含め見解は。
- 答** 年間2億7000万円が必要となり、国の補助等もなく、財源の確保に課題があると認識しており、今後本市の財政状況や国の動向を注視していく。
- 問** 保育所等で令和5年度の募集において第3入所希望までの園に入れない子どもは何人か。また隠れ待機児童の把握と対応は。
- 答** 令和5年3月1日時点で183人いるが、第3希望以外で入園可能な保育所等の提案を行うなど、保護者に寄り添った入所調整を行っている。隠れ待機児童については、令和4年10月1日時点では128人。待機児童ZEROプランRを推進し受入体制を整えることで一定の効果を有していると考えている。

寝屋川市だから学べる「寝屋川教育」

- 問** 一人一台のタブレットが整備されたことから、学習到達度調査においてデータ収集・分析、教員の時間抑制につながるCBT方式の導入を検討してはどうか。
- 答** 国・府の動向を注視しながら、検討していく。

子どもを全力で守り抜く

- 問** 子ども食堂は全市的に各地域で運営されることが望ましいと考えるが見解は。また子ども食堂を多世代交流拠点として位置付けることへの見解は。
- 答** 令和4年度には9団体から16団体に増加しており、引き続き、市内で広がるように周知や運営支援を行っていく。介護予防においても、社会参加は重要であると考えており、今後、多世代交流について調査・研究していく。

ポテンシャルをフル活用した都市基盤整備

- 問** 寝屋川公園の権利移譲について、現在の状況は。
- 答** 広域避難地に指定されていることから困難であると回答を得ているが、府も本市との協力体制において、寝屋川公園の一層の活性化を図りたいと意向を示しており、移譲可能な権限の範囲も含め協議を進めていく。

- 問** 市内で広大な土地を有する大阪公立大学工業高等専門学校の移転の延期により府との協議も順延になると推察するが、現在の協議状況は。
- 答** 府府民文化庁と協議の進め方について意見交換を行い、今後、府の関係課を交えて協議を行っていく。

- 問** 京阪本線連続立体交差事業に関連して、駅東側の自転車駐車場及びトイレの課題は仮駅舎が運用されることにより改善されると考えるが、仮駅舎の運用開始時期も含めた課題解消について見解は。
- 答** 仮駅舎は令和7年中に、自転車駐車場の一時預かりは令和5年中の運用を目指し京阪電鉄において、細部の詳細設計を行っている。トイレの設置についても、必要性を含め検討が進められている。



京阪本線連続立体交差事業・香里園工事現場

- 問** 乗合事業は毎年度実証実験としていたが今後はどのようにするのか。

答 再検証結果を踏まえ、拡大予定の公共交通空白地域8地区の自治会に、公共交通等の利用実態などの現状と課題について調査していく。

問 本市地域公共交通協議会で料金の無料について疑問の声が上がっているが見解は。

答 利用の回数制限などの様々な課題を検討しており、他市事例を調査する中で検証していく。

問 実施地域との不公平感を感じるのと多くの声を聞き及んでいる。先述の協議会でも不公平といった意見があったが見解は。

答 地域公共交通協議会における意見も踏まえ、今後の高齢化社会に適応した事業として検討していく。

災害から命を守るための対策

問 防災行政無線更新整備事業設計業務について、防災行政無線の課題対応になることから期待される事業である一方、大雨時の閉めきった屋内への情報提供には課題が残る。8割の世帯が保有しているスマートフォンを戸別受信機のように活用できる方法の導入を併せて検討すべきと考えるが見解は。

答 スマートフォンの活用は、スピーカーの更新に併せ、調査・研究していく。

誰が安心して生活でき、ともに支えあう地域づくり

問 社会保障費の抑制につながる「介護予防」での効果額は。

答 厳密に効果額を示すことは困難であるが在宅での生活支援や自立支援・重度化防止などに効果があつたと認識している。

問 親亡き後問題の対応は、親が元気なうちに対策を準備することが大切だが、対応策について見解は。

答 親亡き後等の問題検討委員会での議論を踏まえ、必要な取組を進めていく。

衛生的で快適な生活の確保

問 マスク着用の有無について、各々の誹謗中傷対策について見解は。

答 あらゆる媒体の活用により周知し、学校現場でも、国や府の方針に沿って適切に対応していく。

学びによる市民文化の向上と発展

問 (仮称) こども専用図書館について、アドバンスねやがわ1号館5階部分と屋上も含めた活用が望ましいとの意見に対して現在の状況は。

答 現在、ターミナル化推進計画等を踏まえ整理・検討している。



市第四中学校区小中一貫校新体育館見学会を開催

令和5年12月に完成予定である、寝屋川市第四中学校区小中一貫校における新体育館棟の竣工に伴い、令和5年1月20日(金)に見学会を開催しました。

見学会では、新体育館を見学するとともに、施設の概要や設備等についての説明を受けました。



◆ 全員協議会を開催 ◆

市議会では、令和5年1月27日(金)に全員協議会を開催し、市から寝屋川市空き家等・老朽危険建築物等対策計画(検討案)について説明を受けました。

※全員協議会とは・・・市政に関する主要事業等について共通の認識を持つため、議員全員が集まって開かれる会議です。



公明党市会議員団

心に届く政治を
声に応える政治を

村上 順一
池添 義春
岡 由美
高見 雄介
辻谷 恵一
野々下 重夫

物価高騰下支援について

問 新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金の活用に限ら
ず、市としての物価高騰下LPガス
支援について見解を伺う。

答 国・府の支援策の動向や財源確
保の課題等を踏まえ、物価高騰対策
について必要性、優先度等を総合的
に検討していく。

市民活動拠点について

問 寝屋川市駅前のアドバンス1号
館5階を活用しての総合センター、
市民サービス機能などの設置につい
てどのように整理検討されたのか。

答 ターミナル化推進計画等を踏ま
え、新たな生涯学習施設と（仮称）
こども専用図書館とを併せて、整理・
検討しているところである。

避難拠点、小学校体育館への
エアコン設置について

問 学校体育館は災害発生時の避難
所であり、重要拠点でもある。小学
校体育館へのエアコン設置について
見解を伺う。

答 既に中学校に設置している、非

常時の際LPガスに切り替えること
ができるエアコンの設置を検討す
る。

ヤングケアラー支援について

問 昨年、教育委員会が行ったヤン
グケアラー実態調査結果の概要と結
果分析で分かった傾向を伺う。

答 小学5年生から中学3年生まで
の全児童生徒を対象に記名は任意と
して調査を行った結果、特に幼い
きょうだいの世話をしているという
児童生徒が多い傾向であった。

带状疱疹ワクチン接種助成に
ついて

問 ワクチン接種費用の一部助成を
検討できないか見解を伺う。

答 近隣他市の状況を見る中で、よ
りよい方策を検討していく。

乗合いタクシー事業について

問 乗合いタクシー事業の今後の拡
大について見解を伺う。

答 令和5年度において、再検証の
結果を踏まえ、拡大予定の公共交通
空白地域8地区の地元自治会に対
し、公共交通等の利用実態などの現

状と課題について調査していく。

東大和町（A街区）防災街区
整備事業の推進について

問 災害に強い魅力的なまちの創造
を目指す東大和町（A街区）防災街
区整備事業を推進しているが、ベル
大利商店街は含まれているのか。ま
た、ベル大利商店街の狭い通路につ
いては防災上どのように考えている
のか。

答 ベル大利商店街は含まれていな
いが、地域で組織する寝屋川市駅西
地区まちづくり勉強会の区域には含
まれており、商店街の通路における
防災上について、地域と連携を図り、
協議を行っていく。

学校給食費について

問 給食費の無償化についての声は
大変多い。小中一貫した無償化6億
円の経常経費計上が厳しければ、中
学校の3年間無償一等について考え
られないか。見解を伺う。

答 中学校給食を無償化している他
市の状況や市民ニーズ等を踏まえ、
総合的に検討する必要がある。

緊急通報システムについて

問 固定電話を持つ高齢者宅は少な
くなりつつある。固定電話を持たな
い高齢者宅で活用できるものを引き
続き要望するが、見解を伺う。

答 現在の対象は、固定電話のみと
なっているが、固定電話の加入率も
下がっていることから、固定電話が

無い方でも利用できるコードレス型
の装置を導入する。

駅近図書館整備について

問 香里園、萱島、寝屋川公園駅近
の分室設置について見解を伺う。

答 今後の図書館の在り方、構想に
ついては、公共施設の在り方を検討
する中で考えていく。

文化芸術振興策について

問 秋の文化芸術月間は、市の文化
振興策の象徴であり、集大成となる
取組期間である。昨年は、プロのオー
ケストラの公演も行われ、また、子
どもたちにも本格的な芸術に触れる
機会の提供があり、一定の成果が収
められたと認識している。今後の取
組について方針を伺う。

答 今後も、子どもたちをはじめ、
市民が一流の芸術や文化に触れる機
会を提供していくことについては、



プロのオーケストラによる公演会

引き続き、実行委員会と共に検討を進めていく。

国民健康保険料について

問 令和6年度の統一基準に向け、令和5年度は市独自の激変緩和が引き続き実施される。市としての努力、

取組を行ってきたことについての振り返りを伺う。

答 市独自の激変緩和については、平成30年度から府内統一保険料を踏まえ、国民健康保険財政運営安定化基金を活用し、被保険者の負担軽減を図ってきた。

大阪維新の会議員団

次世代にツケを残さない 本気の改革を今こそ

中川 健
井川 晃一
奥 大輔
中谷 剣将
福田 篤志

人事及び働き方について

問 フレックスタイム制が「隠れ残業の温床」になっている。利用ニーズがある職員に限定し、幹部会議や人事担当においてこれを促進することは慎むべきと考える、見解を伺う。

答 フレックスタイム制は、当市の働き方改革を実現する取組の一つとしており、不適正な勤務がないよう、職員が自身の勤務時間を厳格に管理するとともに、所属長による適正管理及び指導等を行い、「隠れ残業」の実態はなく、引き続き適切に労務管理を行う中で運用する。

問 第7期定員適正化計画における「常勤職員数の増加」「令和5年度に残業がゼロになる」という論理は破綻している、見解を伺う。

答 望まない残業は令和2、3年度の2年間で2万7740時間の縮減、

効果額は約1億2500万円となっている。この間の人件費の増は約1億円で「総人件費をコントロールした人員の増」を図ったが、令和3年度は新型コロナウイルス対応に多くの人員を投入したことから、コロナ禍が影響している様々な要素の不透明さ等を踏まえ、職員は増員せず退職者補充を基本とした対応としており、引き続き、職員数の適正化を図っていく。

問 退職者の理由について伺う。また平成27年度からの退職者の人数を年度ごとに伺う。その内「自己都合」退職者の人数も伺う。

答 配偶者の転勤や家族の介護など家庭の事情、地元へのＵターンなど様々な理由がある。退職者の人数及びそのうち定年前早期・自己都合退職者数は平成27年度が49人中12人、平成28年度が56人中22人、平成29年度が51人中22人、平成30年度が63人

中31人、令和元年度が65人中36人、令和2年度が51人中21人、令和3年度が61人中27人、令和4年度の見込みが80人中39人である。

公共施設整備、将来を見据えた 自治経営について

問 (仮称) 駅前庁舎の専用駐車場が確保できないことが判明した。アルカスホール横の立体駐車場を活用し無料の駐車券を発行すると聞き及んでいるが一日の駐車台数の見込みと年間駐車代金の支出見込みを伺う。

答 一日500台程度の駐車を見込んでいる。近隣民間駐車場の料金体系に基づき無料処理を行った場合、年間約5300万円の費用が必要と試算している。

問 (仮称) 駅前庁舎の専用駐車場は確保できないという認識で間違いはないか。

答 現時点では専用という意味では確保できていない。

問 福祉事務所を含め、来庁者が多



(仮称) 駅前庁舎

い窓口は本庁舎への集約化を基本とし、駅前庁舎は来庁者が少ない部局や生涯教育施設を配置するなど、現行の考え方を抜本的に改めるべき、見解を伺う。

答 市民の利用頻度が高く利用者数が多い窓口を所管する市民サービス部や子ども部の機能を市の中心部に当たる寝屋川市駅前に集約することで利便性向上が図られることから、将来を見据えた市民サービスのタミナル施設として、現行の計画どおり(仮称) 駅前庁舎の整備を進める。

子育て・教育関連について

問 本市の来年度以降の待機児童の見通し及び対策を伺う。

答 令和5年度においては引き続き、待機児童ZEROプランRの各種事業を推進する。また、保育ニーズや他自治体における保育士確保対策の実施状況を把握し、待機児童ゼロが継続できるよう適切に対応していく。

問 第四中学校区小中一貫校と他校との学校施設の格差は許されない。校区問題審議会の速やかな開催を求めるが、見解を伺う。

答 市内公共施設の将来の在り方に関わる重要な事案であり、今後の市全体の公共施設の方針を踏まえ、学校施設の課題や児童・生徒数の推移を的確に見極める中で検討する。

問 子ども図書館のアドバンスねやがわ一号館5階への設置を求める。

答 現在、タミナル化推進計画等を踏まえ整理、検討している。



あかつき・ひばり園の外観

市議会の支援を
果たせるよう
的役割を果
支援の基幹
園が障害者
き・ひばり
問 あかつ
き適切に対
答 引き続
組を求める。
継続した取
ゼロを評価
問 年間を通

問 今期4年間で市民の声を聞き市民の命を守る市政運営ができたのか。
答 タウンミーティング、各種団体との懇談など様々な機会等を通じて市民の声を聞き、それらの声を大切にした市政運営を行った。
問 本市独自で行ったコロナ感染対策について市民の評価はどうか。
答 多くの市民から喜びの声が寄せられるなど、評価を頂いている。
問 市財政は大丈夫なのかとの市民の心配の声に対しての見解は。
答 財政的な余力分を活用し、積立でも行い、基金残高は増加。コロナ対策は国の交付金を優先的に活用し、財政調整基金も最大限活用した。
問 年間を通しての保育所待機児童

市民の命とくらし 最優先の市政を

日本共産党市会議員団

太田 徹
中林 和江

本会議を録画配信しています！

市議会で開かれる本会議の様子は、インターネットで録画配信しています。市議会ホームページの「本会議録画配信」(右のQRコード)から視聴できます。

議会だよりの誌面では、お伝えできなかった議案の審議や会派代表質問の様子を御覧いただけます。



求める。
答 市として適切に支援していく。
問 府内統一国保ではあるが、市として国保料の抑制の努力を求める。
答 令和5年12月策定予定の府の方針を精査し、必要に応じて意見具申を行い、負担軽減につなげたい。
問 廃プラを焼却するため、ごみ減量の目標と施策は。
答 現時点で廃プラを加えての焼却は困難。構成市の動向と焼却炉の性能を踏まえる中で調査・研究する。

寝屋川市議会の個人情報の保護に関する条例の制定

「個人情報の保護に関する法律」が改正され、地方議会は、当該法律の適用対象から除外されることとなります。このため、本市議会では、議会における個人情報を保護し、共通ルールに沿った自律的な措置を講じる必要があるとの観点から、令和5年3月定例会で「寝屋川市議会の個人情報の保護に関する条例」について、議員提案を行い、本条例を制定しました。

施行は、令和5年4月1日となっております。

条例の詳細は市議会ホームページの「個人情報の保護」(右のQRコード)を御覧ください。



議 会 日 誌

【1月】
17日 本会議(1月臨時会)／予算決算常任委員会健康福祉分科会／文教生活常任委員会／予算決算常任委員会文教生活分科会／予算決算常任委員会総務都市創造分科会／予算決算常任委員会幹事長会

【2月】
27日 幹事長会
27日 議会運営委員会
27日 本会議(第1日)／議会広報委員会
28日 予算決算常任委員会健康福祉分科会／予算決算常任委員会文教生活分科会

【3月】
1日 予算決算常任委員会総務都市創造分科会／予算決算常任委員会本会議(第2日)
6日 本会議(第3日)
7日 本会議(第3日)
8日 健康福祉常任委員会(※)
10日 文教生活常任委員会(※)
14日 議会運営委員会
15日 総務都市創造常任委員会

【4月】
22日 予算決算常任委員会
22日 議会運営委員会／本会議(第4日)／予算決算常任委員会健康福祉分科会／文教生活常任委員会／予算決算常任委員会文教生活分科会／予算決算常任委員会

7日 議会広報委員会



3月定例会 議決結果一覧



議案番号	件 名	議決結果
議案第4号	令和4年度寝屋川市一般会計補正予算（第10号）	可 決
議案第5号	令和4年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
議案第6号	令和4年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可 決
議案第7号	令和4年度寝屋川市水道事業会計補正予算（第5号）	可 決
議案第8号	令和4年度寝屋川市下水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
議案第9号	寝屋川市みんなのまち基本条例の一部改正	可 決
議案第10号	寝屋川市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定	可 決
議案第11号	寝屋川市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可 決
議案第12号	寝屋川市重度障害者の医療費の助成に関する条例等の一部改正	可 決
議案第13号	寝屋川市国民健康保険条例の一部改正	可 決
議案第14号	寝屋川市旅館業法施行条例の一部改正	可 決
議案第15号	寝屋川市建築基準法施行条例の一部改正	可 決
議案第16号	寝屋川市自転車安全利用条例の一部改正	可 決
議案第17号	寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可 決
議案第18号	令和5年度寝屋川市一般会計予算	可 決
議案第19号	令和5年度寝屋川市国民健康保険特別会計予算	可 決
議案第20号	令和5年度寝屋川市介護保険特別会計予算	可 決
議案第21号	令和5年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
議案第22号	令和5年度寝屋川市公共用地先行取得事業特別会計予算	可 決
議案第23号	令和5年度寝屋川市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算	可 決
議案第24号	令和5年度寝屋川市水道事業会計予算	可 決
議案第25号	令和5年度寝屋川市下水道事業会計予算	可 決
議案第26号	包括外部監査契約の締結	可 決
議案第27号	市道の廃止	可 決
議案第28号	市道の認定	可 決
議案第29号	教育委員会教育長の任命	同 意
議案第30号	教育委員会委員の任命	同 意
議案第31号	有功者の選定	可 決
議案第32号	令和4年度寝屋川市一般会計補正予算（第11号）	可 決
議案第33号	令和5年度寝屋川市一般会計補正予算（第1号）	可 決
議案第34号	令和5年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第35号	令和5年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第36号	財産の取得	可 決
議員提案第1号	寝屋川市議会の個人情報の保護に関する条例の制定	可 決
議員提案第2号	新型コロナウイルス感染症後遺症の方々の日常を守るため取組強化を求める意見書	可 決
議員提案第3号	認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書	可 決

※議案内容・議決結果は、市議会ホームページで御覧いただけます。

市議会傍聴に来られる 皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市議会傍聴時には、以下のことに御協力をお願いします。

- ・消毒液による手指の消毒
- ・間隔を空けた傍聴席への着席
（通常よりも席数を減らしており、傍聴できない場合があります。）
- ・サーモグラフィカメラによる検温
（37.5℃以上の発熱が確認された場合は傍聴をお断りする場合があります。）

市議会開催のお知らせ

次の市議会の開催は、5月臨時会（5月23日・25日）を予定しています。この臨時会では、主に令和5年度の議会の役員を選出が行われます。

臨時会の会期中は、新たな役員の協議が整い次第、随時、会議を開くことになります。

また、6月定例会の日程は、「広報ねやがわ6月号」と市議会ホームページでお知らせします。

※詳細については、市議会ホームページ（右のQRコード）を御覧下さい。

